

平成30年度 第5回 静岡県作業療法士会理事会 議事録

1. 開催日時 平成30年12月22日 午後1時00分～4時53分
2. 開催場所 公益社団法人 静岡県作業療法士会事務局（静岡市葵区昭和町9-5 第二大石ビル8F）

3. 出席者

理事総数 15名
出席理事 11名
代表理事 秋山恭延（議長）
理事 梶原幸信 三井忍 大庭俊裕 林正春 建木健 岡本博行
大石裕也 齊藤洋平 稲葉洋介 伊井玄
監事 小笠原誠 遠藤浩之
部長 清水良治 伊海友雪 佐藤佑輔 加納彰
委員長 ピリ睦

4. 決議事項

第1号議案 部局再編成の件（継続審議）
第2号議案 平成31年度予算案について
第3号議案 事務局員雇用の件
第4号議案 第33回静岡県士会学会学会長の件
第5号議案 外部団体からの委員、会議、式典出席の依頼について（事務局）
その他（各部局からの決議事項）

5. 報告事項

報告第1号 第19回東海北陸作業療法学会
報告第2号 各部報告（職務執行状況の報告）
報告第3号 その他
報告第4号 第6回理事会開催日

6. 開会

事務局が定数を満たしていることを報告し、議長は本会が成立していることを宣言した。

7. 議事の経過要領及びその結果（決議事項）

第1号議案 部局再編成の件 ⇒ 承認

- 1) 学術部のSIGとWGについて、①本体②SIG+WGの2本柱で活動
SIG・WGは「班」として各機能を持つよう進める。
会計については各班で独立して事務局又は本体に上げる形式を取る。
モビリティは高次脳班に組み込んで進めるが、認知症に関しても検討すべき。
WGの他団体との活動とは、研修会や行政との会議等を指す。OT協会との会議も含めて窓口等の担当等、内容・枠組みは要検討。
本体活動としては、学会（主に学術局の一般演題）への支援を進めていきたい。
- 2) 地域活動推進部と事業部の統合
名称は『地域事業部』とする。次年度事業計画を林理事と建木理事で検討。
本体事業として市町代表者育成は、三士会協議会の活動と同等 →WGは発展的解散
OT啓発活動と三士会協議会の活動が拡大している部分を担い委員会（災害対策委員会、訪問リハビリテーション委員会、地域包括ケア委員会）を常設

第2号議案 平成31年度予算案について ⇒ 承認

- ・活動計画・予算案：メールにて1月18日までに提出（最終締め切り1月25日）
- ・予算審議委員会：候補日：①2月27日②1月26日

第3号議案 事務局員雇用の件（10/12岩科事務局員辞職に伴う対応）⇒ 承認

- （案）大石潤子氏：平成31年1月8日～火、水、木10:00～14:00（4時間）の3日間。
平成31年4月～ 火、水、木9:00～14:00（5時間）。
雇用条件の確認（役割は会計業務、休憩なし）。雇用契約書作成する。

第4号議案 第33回静岡県士会学会学会長の件 ⇒ 承認

- ・組閣：学 会 長：生田純一氏（中伊豆リハビリテーションセンター）
学会顧問：梶原幸信氏（伊東市民病院）
実行委員長：伊海友雪氏（中伊豆リハビリテーションセンター）
事務局長：鈴木亮太氏（沼津リハビリテーション病院）
学術局長：清水良治氏（NTT 東日本伊豆病院）
運営局長：金子智治氏（中伊豆温泉病院）

・学会テーマ：「他職種」「多様性」をキーワードに検討

・開催日程と場所

開催日：2020年6月20日・21日

場 所：プラサヴェルデ（沼津市）

第5号議案 外部団体からの委員、会議、式典出席の依頼について（事務局）

- ・静岡市介護認定審査会委員の推薦：5名（岡庭理事、大石理事、片桐利康氏、
勝又真理氏、中村哲朗氏）⇒ 再任
- ・静岡市障害支援区分認定審査会委員の推薦：1名（岡庭理事）⇒ 再任
- ・三島市介護認定審査会委員の推薦：2名（岡本曜祐氏、山下佳代氏）⇒ 承認
- ・伊豆の国市介護認定審査会委員の推薦 1名（川口典宏氏）⇒ 再任
- ・富士市介護認定審査会委員の推薦 1名（市村紋子氏）⇒ 再任
- ・島田市障害支援区分認定審査会委員の推薦 1名（福島千恵子氏）⇒再任

その他（各部局からの決議事項）

- 1) 渉外部：H30年第3回47委員会（2月2~3日）：梶原副会長代理出席
H31年第1回47委員会：岡庭理事へ確認
- 2) 教育部：来年度より研修会受付システムが変更。バーコードリーダー方式を導入。
PC代等20万円予算計上する予定。
⇒具体的な運用について明確になった時点で再度説明する。
- 3) 広報部：①一般広報誌について再検討。内容を自助具の紹介とする ⇒ 承認
②社章の見積もり（2社）⇒ 再度条件に見合う形で見積もり取る。
③田中まさし議員のチラシを次回会報誌に同封。協会からも依頼 ⇒ 承認
④映画作成：各都道府県士会へ1口3万円（3口〜）で支援依頼あり。
⇒ 見合わせで承認
⑤OT かるたをコンクール等に出品してみてもどうかという意見あり要検討。
- 4) 福利部：静岡 OT リーダー育成研修会の名称を改めてはどうかという意見が出た。
「リーダー育成」「2日間開催」のハードルが高いのではないか。
365体制で連休が取れない現状や2日開催への難色がある。1日開催や隔年の2日開催などの工夫。フォローアップ体制の構築も必要。
- 5) 事業部：作業療法体験データー（2月10日）スタッフ7名 ⇒ 承認
- 6) 地域活動推進部：・特別支援教育 WG 2月の学童保育研修会にてマスコミを呼ぶことについて ⇒ 承認
・地域包括ケア推進委員会代表者選出：東部 加納部長、
西部 小出副部長、中部 岡田氏（静岡リハビリテーション病院）⇒ 承認
- 7) 事務局：総会開催日の研修会は各養成校の教諭から卒後の現場での課題（仮）としてシンポジウム形式で進める。
・日 時：平成31年6月15日（土）あざれあ大ホールにて開催予定
準備も兼ねて会場の使用時間は1日予約
⇒ 開催日・会場は承認。広報や人員について事務局にて検討。

8. 報告事項

報告第1号 第19回東海北陸作業療学会

- ・福井学会に実行委員出席（11月17・18日）し広報活動実施
- ・次回理事会にて具体的な内容を提示できそう
- ・レセプション：福利部佐藤氏（神経科浜松病院）と協議

報告第2号 各部報告（職務執行状況の報告）

- 1) 学術部：各種研修会開催予定
- 2) 教育部：部会2月3日事務局にて開催予定
MTDLP と生涯教育制度事例発表会を開催

- 3) 広報部：一般向け広報誌について次号は高次脳機能障害を取り上げる予定
ホームページ運用：業者と打合せ課題は解決しよう。
- 4) 渉外部：①12月16日介護ロボットのニーズ・シーズ協議会
12月23日事務局にて第3回協議会開催（ニーズに沿い企業の紹介と企画）
②東海北陸リーダー養成研修会の資料が届いた。（次年度は石川県）
- 5) 福利部：①10月21日～22日静岡OTリーダー育成研修会開催 6名参加
タイトルに尻込みする会員の存在も考え今後検討。
②学会懇親会の協力
- 6) 事業部：地域交流祭り（城東保健福祉エリア）へ参画、認知症相談やOTカルタを実施
- 7) 調査部：①生活行為工夫情報モデル事業：来年度もモデル事業として実施。部員との
情報共有や事業の広報を行う。
②レッツ・リモコン貸し出し：品物は未着。
- 8) 地域活動推進部：2・3月市町代表者研修会開催予定（地域リハビリテーション活動について）
【精神障害】県の補助金を使用した研修会 37名参加
1月18日（金）県自立支援協議会との研修会
【認知症】アップデート・ステップアップ研修会開催（次年度も同様の頻度で実施予定）
【特別支援教育】学校を理解して支援できるOTの育成研修会開催（28名）
2月17日学童保育&作業療法研修会
【モビリティ】1月29日自動車運転研修会開催
【生活行為工夫情報モデル事業】
連絡会開催（支援システムの普及、事例の取り扱い、今後について）
【伊豆市・伊豆の国市OTグループ】各種活動報告あり。
【中部地区】リハ専門職団体より講師派遣の依頼
ワーカーズコープゆめコープ中部事業所 → 池田亜津未氏派遣予定
- 9) 災害対策委員会：第7回静岡災害リハビリテーション研修会（12月1日 102名参加）
- 10) 法人管理委員会：①規約検討委員会を11月23日に開催
②特定費用準備資金に関して：今後審議が必要
- 11) 訪問リハビリテーション委員会：①専門職団体協議会の企画会議に出席
②人材育成研修会開催
③1月19日医療・介護連携に関するシンポジウムを開催
④訪問リハ地域リーダー会議4月27日開催予定
- 12) 事務局：・予算案について「財務0000予算案」→「31年度予算案申請書」に記入提出
議案集3月完成。4月承認。事業終了部局は返金して構わない。
・会員：県士会員数1600名（11月30日現在）会費納入率93%（未払126名）
- 13) 表彰委員会：・杉浦記念財団候補者推薦早急に応募
・次年度表彰は総会後に表彰（次回理事会で表彰該当者を募ります）
・学生の表彰について、1月に推薦状を送付し2月の理事会で承認

報告第3号 その他：財務部より、昼食代は福利厚生費ではなく会議費となる。

今後勘定科目の詳細について確認し説明する。

報告第4号 第6回理事会開催日：2月23日

平成30年度理事会開催予定日および開催日

	開催日・候補日		備考	主な行事
第1回	4月	15日（日）	新人リエンテーション時	
第2回	6月	30日	拡大理事会	
第3回	8月	25日	納涼会	
第4回	10月	14日（日）		
第5回	12月	22日	拡大理事会、忘年会	
第6回	2月	23日		2～3日（47委員会）
臨時理事会	3月	23日（土）or 24日（日）	年度末の会計	

9. 議長は以上をもって議事は終了した旨を述べ、午後 4 時 53 分、閉会を宣言した。
以上の決議を証するために、この議事録を作成し、議事録署名人が署名・押印をする。

議事録作成者 武内元

議事録署名人

- | | |
|-------|---|
| ・秋山恭延 | 印 |
| ・梶原幸信 | 印 |
| ・三井 忍 | 印 |
| ・岩井幸治 | 印 |
| ・大庭俊裕 | 印 |
| ・岡庭隆門 | 印 |
| ・稲葉洋介 | 印 |
| ・大石裕也 | 印 |
| ・勝又和也 | 印 |
| ・齊藤洋平 | 印 |
| ・建木 健 | 印 |
| ・林 正春 | 印 |
| ・村岡健史 | 印 |
| ・岡本博行 | 印 |
| ・伊井 玄 | 印 |